

## ポイント ④

## ホワイトスペースを効果的に用いる

ホワイトスペース (white space) とは、ページ上の余白のことを指しています。ホワイトスペースには、上下左右のマージン、コラム間のスペース、パラグラフ間のスペース、単語間のスペースなども含まれます。日本語からすると、余白の余は「余り」の意味であり、そのスペースはほとんど意味を持たないものとして考えられがちですが、そうした考えは全くの誤りです。実は、ホワイトスペースは、2つの大変重要な役割を担っています。1つ目は、読者に本文に目を通そうとする気を起こさせ、しかも、読み進めようとする気持ちを持続させることです。ホワイトスペースのページ全体に占める割合を、少なくとも50パーセント程度にすべきであると多くの研究者は唱えています。2つ目は、読者の目に情報間の関係をとらえやすくすることです。

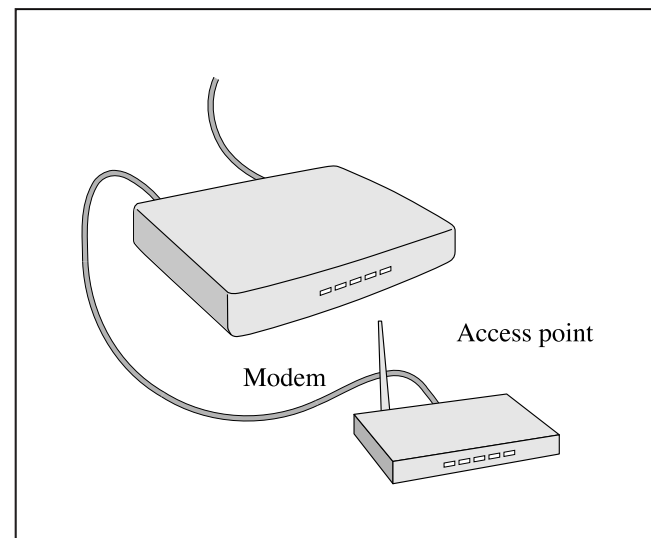
英文ユーザーマニュアルの場合、ユーザーに読む気を起こさせるうえで、ページの左側に大きなマージンを設けることが好ましいとされています。英語の文字は左から右に読まれることから、ページの左側に大きな余白があると、ユーザーは、各行の先頭に目を向けた際に圧迫感を覚えないのです。しかも、その余白に、ユーザーの注意を引き付けたい、見出し、アイコン、イラスト、注釈などを自然な形で入れることもできます。

ページの左側のマージンに加えて、前の節でもお話しした、見出しと本文との間、パラグラフ同士の間、行と行との間などに適切な（縦の）スペースを設けることも、ユーザーの読もうとする気持ちを駆り立てるうえでとても重要です。

海外の一般的なユーザーは、日本のユーザーの大多数と同様に、マニュアルを読むのは面倒くさいと考えており、マニュアルをできるだけ読まずに済ませようとします。ただでさえ、マニュアルに対して、そうしたネガティブな気持ちを抱いている中で、文字のぎっしりと詰まったマニュアルを手にとると、ユーザーのマニュアルを読もうとする気はすっかり（あるいはほとんど）消え失せてしまいます。皆さんも、これまで、文字のぎっ

しりと詰まったマニュアル等を手にした際に、文字の多さにうんざりし、全く読む気にならなかった経験を一度ならずしているものと思います。

次に、ホワイトスペースの2つ目の役割についてですが、ユーザーの目に、マニュアルのページ上の情報間の関係をとらえやすくするには、相互に関係する情報は、お互いに近づけるとともに、関係の薄い（あるいは関係の無い）情報との間のスペースは相対的に大きくします。たとえば、イラストのキャプション（図中文字）は、該当するイラストの近くに置くことで、ユーザーは、そのイラストについてのものであることを認識できるのです。以下のように2つのイラストの中間あたりに置かれていたのでは、ユーザーは、どちらのイラストを指しているキャプションであるかの判断に迷ってしまいます。



私たちは、どんなスペースも、周りのスペースとの比較によって、そのスペースの示す意味を見出そうとすることから、情報間の関係を示すスペースの大きさは、周りのスペースとのバランスを考えたいと決める必要があります。

それでは、ホワイトスペースを効果的に用いた好ましい例と、そうでない好ましくない例を紹介します。

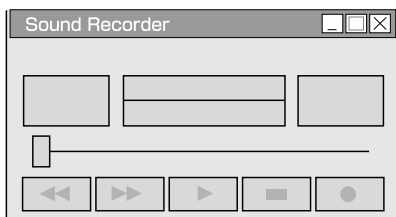
## 良い例

## Recording and Playing Audio

You can easily record your voice or other audio by connecting a commercially available microphone to your computer. For the location of the microphone jack on the computer, see “Checking Out Your Computer” on page 8.

### Recording Audio

- 1 Plug a microphone into the microphone jack on the computer.
- 2 From the Start menu, select “All Programs,” “Accessories,” “Entertainment,” then “Sound Recorder.”
  - The Sound Recorder window opens.



- 3 Click ● (record), then speak into the microphone.
- 4 When you finish recording, click ■ (stop).
- 5 In the File menu, click “File.”
- 6 Click “Save As.”
  - The Save As dialog box opens.
- 7 Type to name the recording.
- 8 Specify the location where you want to save the recording.
- 9 Click “Save.”

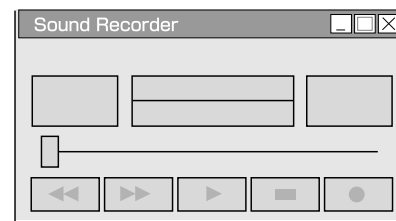
## 悪い例

## Recording and Playing Audio

You can easily record your voice or other audio by connecting a commercially available microphone to your computer. For the location of the microphone jack on the computer, see “Checking Out Your Computer” on page 8.

### Recording Audio

- 1 Plug a microphone into the microphone jack on the computer.
- 2 From the Start menu, select “All Programs,” “Accessories,” “Entertainment,” then “Sound Recorder.”
  - The Sound Recorder window opens.



- 3 Click ● (record), then speak into the microphone.
- 4 When you finish recording, click ■ (stop).
- 5 Click “File.”
- 6 In the File menu, click “Save As.”
  - The Save As dialog box opens.
- 7 Type to name the recording.
- 8 Specify the location where you want to save the recording.
- 9 Click “Save.”

### Playing the Recorded Audio

- 1 From the Start menu, select “All Programs,” “Accessories,” “Entertainment,” then “Sound Recorder.”
  - The Sound Recorder window opens.
- 2 Click “File.”
- 3 In the File menu, click “Open.”
  - The Open dialog box opens.
- 4 Click the file that you want to play.
- 5 Click “Open.”
- 6 Click ► (play) to play the file.
- 7 To stop playing the file, click ■ (stop).